

A107 京都学入門	
英名科目名	Introduction to Kyoto Studies
大学名	佛教大学
連絡先	学生支援課 TEL 075-491-2141(代)
担当教員	斉藤 利彦(歴史文化学科 教授)
開講期間	2021年09月20日(月)~2022年02月10日(木) 2講時 10時40分~12時10分(毎週月曜日) 最終週は定期試験週 なお、以下の日程は授業日ではありませんので注意してください。 2021年9月23日(木・祝) 秋分の日 2021年11月1日(月)~11月3日(水) 学園祭開催の為 2021年11月23日(火)~11月25日(木) 公募制推薦入試の為 2021年12月24日(金)~2022年1月7日(金) 年末年始休暇の為 2022年1月10日(月・祝) 成人の日 2022年1月14日(金) 大学入学共通テスト準備の為 2022年2月1日(火)~2月3日(木) 一般入試A日程の為
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 月曜日 2講時
単位数	2 履修年次 3年次以上
会場	紫野キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	10 京カレッジ生定員
試験・評価方法	成績評価の基準 ・定期試験(課題)50% 到達目標が達成されているかどうかを、よくできている90~100点、きちんとできている80~89点、もう少し努力がほしかった70~79点、努力してほしい60~69点、理解度に問題がある60点以下、というかたちで評価し、それを割合50%に換算します。 詳細な評価項目に関しては、第1回目の授業で提示します。 ・授業内試験40% 第5回後、第8回後、第12回後、第14回後の計4回、授業内容の理解度を測るアセスメント・テストを行います。1回10点満点です。Google Classroom内にアップされたテストを、期限内に、受講生各自が受けてもらうかたちとなります(受験しないと、1回につき、10点を失うこととなります。気をつけてください)。 ・その他10% コメントなどの提出に対し、評価します。
超過時の選考方法	書類選考
受講料	
別途負担費用	なし
その他特記事項	
パッケージ科目	京都学
低回数受講推奨科目	
講義概要・到達目標	授業のテーマ 京都学を始め 授業の概要 千年の歴史をもつ京都は、都市として、つねに歴史の中心であった、という個性をもっています。豊かな生活文化を育んできた街、京都について、さまざまな視点から、京都を知ってもらい、まさしく、京都入門として、みなさんに、生活文化史という視点からの、京都を解説していきます。 授業の目的・ねらい (1)都市京都の歴史について理解を深め、その通史を説明できる

ようになる。 (2)京都の生活文化に関して知見を身につけ、第三者に解説できるようになる。 到達目標 (1)京都の歴史の流れを、ひと通り理解し、第三者に解説できるようになる (2)京都の生活文化の内容の知見を深め、それらを、第三者に話せるようになる 授業時間外の学修(予習・復習等)についての具体的な指示 予習・復習はGoogle Classroomの各回の資料タブ・質問タブを用いて、指示する内容を、期限内に提出することにします。詳細は第1回目の授業で説明します。 予習:講義内容をかいつまんで解説する予習動画を視聴してください。そのうえで、ワークシートを提出してください。 復習:授業内容について、自分なりに整理した提出物を質問タブに提出してください。 受講にあたっての留意事項 この授業はGoogle Classroomを活用して行います。レジュメなどは事前にClassroomにアップします。各自、ダウンロードして(各自の見やすい書式で結構です)持参するようにしてください。 予習・復習などもClassroom内に提出してください。 現況のなか、社会状況や受講数などから、遠隔授業となることもあり得ます。遠隔授業となった場合、レベルの状況によって、リアルタイム授業、あるいはオンデマンド型授業になると考えられます。いずれにしても、受講生の負担などを考えた形を整えていく予定です。 この授業は映画などの視聴覚教材も使用します。ただし、遠隔授業に移行した場合、著作権上の関係から、一部の視聴覚教材はアップできないことも考えられます。	
講義スケジュール	毎回の授業のテーマ・内容 第1回 開講の辞 授業の進め方や説明など、参考文献など、イントロダクションとしての授業を行います。 第2回 京の地名 京都の地名を通して、京都の歴史(とくに、古代)や文化に関して考えていきます。 第3回 京の路地-上ル・下ル- 京都の道や路地を通して、京都の歴史(とくに中世)や生活文化を解説していきます。 第4回 京の住まい 京都の町家とその構造、年中行事を通して、京都の歴史(とくに近世)や生活文化を考察します。 第5回 京の食 京都の食・食生活・お店・食通の人々から、京都の歴史(とくに近代)や年中行事・慣習、生活文化を紹介していきます。 第6回 京のことは 京の言葉を通じて、京都という風土と歴史(とくに現代)、そこで育まれた生活文化を検討していきます。 第7回 京の山 京都を取り囲む、あるいは京都にある山を通じて、京都の自然環境や信仰・宗教について考えていきます。 第8回 京の川 京都に流れる川を通じて、京都の自然環境や信仰、産業、生活について解説していきます。 第9回 京の寺 京都やその周辺の寺を通じて、京都の歴史や宗教空間、信仰、年中行事を考察していきます。 第10回 京の社 京都やその周辺の神社を通じて、京都の歴史や宗教空間、信仰、年中行事を考察していきます。 第11回 京の祭り 京都で行われる祭礼などを通じて、京都の祭りや年中行事などを紹介していきます。 第12回 京の学問 京都は学問都市としての性格をもちます。京都で育まれた学問の流れについて解説していきます。 第13回 京の芸能 京都で育まれた芸能・民俗芸能を通じて、京都の芸能について考えていきます。 第14回 京の顔見世 12月、四条の南座で行われる歌舞伎の興行 顔見世興行 を検討し、京都の芸能をさらに知ってもらえるよう解説します。 第15回 閉講の辞 省察として、本科目のまとめをおこないます

教科書	
参考書	書名：別冊太陽 京の歳時記今むかし 著者：監修 山路興造 家塚智子 斉藤利彦 村上紀夫他 出版社：平凡社 書名：京都史跡見学 著者：村井康彦 出版社：岩波書店（岩波ジュニア新書）